

臨床研究のお知らせ（説明文書）

非接触式体表温検知器と体温計による体温測定との誤差と 非接触式体表温検知器による異常値の検討

1. 研究の目的・意義

昨今、コロナウイルス感染症は衰えることなく蔓延し、デルタ株に続きオミクロン株の蔓延が重大な問題となっています。症状としては咳、鼻水、倦怠感、咽頭痛、発熱等を主症状とし、本学においては 37.1℃を基準にそれ以上を発熱ありとしています。そのため、施設の入り口に非接触式体表温検知器を設置し、学生及び職員に対し測定を義務付け、健康観察票を記録させています。しかし、非接触式体表温検知器は表面温度を測定するものであり、体温計ではありません。そのため、腋下部（わきの下）体温測定と比べ低い測定結果となる傾向があります。そのため、本学で採用している非接触式体表温検知器と腋下部による体温測定との誤差を調査し、発熱の定義を明確にしたいと思っております。

2. 研究の方法

この研究は公募により参加者を募集し、十分な説明を行い一定期間おいた後、同意の得られた方に対し、非接触式体表温検知器と腋下部（わきの下）での体温測定との誤差を明らかにし、非接触式体表温検知器による異常値の定義を設定するための調査を行います。研究方法としては健康観察票を 2 週間記録していただきます。健康観察票の項目は「体温（腋下）」、「体表温（額）」、「体表温（手首）」、「咳・咽頭痛」、「倦怠感」、「鼻水・鼻閉」、「吐き気」、「息苦しさ」、「味覚異常」、「家族の発熱・諸症状等」です。まず、登校・通勤時に学内に設置してある非接触式体表温検知器にて「体表温（額）」、「体表温（手首）」を測定し、記録してください。その後、研究責任者の用意した Citizen 社の体温計を用いて左腋下部にて体温を測定し、記録してください。体温計の使用前後は毎回 70%エタノールコットンにて十分消毒してください。研究終了後に記録していただいた健康観察票を回収します。回収した健康観察票は後に個人が特定できるよう符号化により連結可能匿名化（対応表あり）し、対応表は研究責任者とは別に個人情報管理者を置き、管理します。この調査は 1 年を通して 4 回行います。

3. 研究への参加とその撤回について

この研究への参加は、本人の自由意思によるものです。拒否しても、不利益を被ることはありません。例えば学生の場合、研究への参加を拒否しても履修科目の評価及び合否には何ら影響することはありません。また、自由意思により同意が得られた場合は、同意書に署名及び同意日を記載していただきます。さらに、説明を行った者は、同意書に

署名し、説明日を記入します。

4. 個人情報の保護について

個人情報は個人情報保護法に基づいて管理し、この研究の目的以外に使用することはありません。個人情報の取り扱いには十分注意し、情報の紛失や研究対象個人が特定されることを防ぐため資料は符号化により匿名化（対応表あり）し、以下に記録して措置を徹底します。得られた情報は、本学薬学部実践薬学講座において、それぞれパスワードを設定したファイルに記録し、ファイルはUSBメモリーに保存して鍵のかかるキャビネットに保管します。そのため、第三者が同講座の職員やデータベースへの不正アクセスを介さず、直接研究対象者を識別できる情報を閲覧することはできません。また、符号化による資料と個人情報との対応表は研究責任者とは別に個人情報管理者を置き、保管します。

5. 研究結果の方表について

この研究で得られた成果は、学内研究発表、国内学会発表及び論文発表を予定しています。その際、個人を特定できる情報は一切含みません。

6. 問い合わせ先

この研究のことで何かわからないことや心配なことがありましたら、いつでもこちらに記載されている連絡先にお尋ねください。

愛知学院大学薬学部医療薬学科講座

〒464 8650 名古屋市千種区楠元町 1-100

TEL052-757-6717

講師 羽田和弘